

令和5年2月教育委員会会議（定例会）会議録

1 日 時 令和5年2月15日（水） 10時00分～11時50分

2 場 所 市役所7階 研修室

3 出席者〔教育長〕中島 秀行

〔委 員〕吉本理(教育長職務代理者)、寺本彰、宮本陽子、森田理恵、
清水国明

〔事務局〕千葉裕之教育総務部長、江原勝美学校教育部長、皆川博幸教育総務部次長、中田利明学校教育部次長兼学校教育課長、吉田謙治社会教育担当参事兼社会教育課長、中村啓教育センター担当参事兼教育センター所長、糟谷苗美教育総務課長、遠山秀仁教育施設課長、廣谷貴紀スポーツ振興課長、稲田里織文化財保護課長、酒井忠夫生涯学習推進センター所長、古田晃一所沢図書館長、伊東真吾学校教育課主幹兼健やか輝き支援室長、鈴木恵学校教育課主幹、渡辺純也保健給食課長

〔書 記〕名雪晋祐教育総務課主査、小城原光貴教育総務課主査

4 会議録の承認

5 会議の傍聴者 なし

6 開 会 本日の議案は追加議案を含めて議案第29号から議案第31号までの3件。

なお、議案第29号、議案第30号、及び報告事項のうち「令和5年度教育委員会当初予算の概要について」は予算に関する内容のため、議案第31号は人事に関する審議のため、また、報告事項のうち「新型コロナウイルス感染症への対応について」の一部及び「市内小中学校での事案について」は、個人に関する情報が含まれ、学校及び個人が特定される恐れがあるため、それぞれ「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項に基づき、非公開としたい旨の発議があり、出席委員全員が賛成し、非公開で審議されることに

決定した。

7 協議事項

○令和5年度所沢市教育行政推進施策について

資料に則り、糟谷教育総務課長から以下のとおり説明がなされた。

所沢市教育行政推進施策は、令和元年度より計画期間を開始した「第2次所沢市教育振興基本計画」の単年度実施計画として、基本計画を推進するための重点事業等をまとめたものである。

令和元年度より、毎年度、「教育行政推進施策」によって、その時々状況に合わせて重点的に注力する施策や事業を選定し、柔軟に対応している。

令和5年度は、新たな取り組みとして「部活動の地域移行」や「コミュニティ・スクールの導入」に着手しつつ、「第2次所沢市教育振興基本計画」の最終年度として、全ての施策を偏りなく進め、計画のゴールを目指すものである。

1 ページ：令和5年度の方角性について記載している。

2 ページから4 ページ：「第2次所沢市教育振興基本計画」の施策体系図と、それぞれの主要施策に対応する事業の一覧を掲載している。

太字になっている事業は、重点事業であり、今回は36の事業を重点事業としている。

5 ページから14 ページ：36の重点事業について、担当課や事業の概要を記載している。事業費については、調整中の予算額を記載している。

15 ページから29 ページ：66の主要事業を掲載している。

30・31 ページ：教育費予算と教育委員会事務局組織図を掲載している。予算資料は、現時点では作成中である。

今後のスケジュールとしては、今回協議いただく内容をもとに、3月には議案として審議をお願いする予定である。

以下、質疑

(寺本委員)

4 ページに「所沢市運動部活動推進事業」がありますが、重点事業として運動部は14 ページに記載がある一方で、文化部は29 ページに同じ予算額で記載があります。2つの事業を分けて記載することで読みにくくなりますし、運動部も

文化部も学校側としての重要度は変わらないと思います。この記載では、文化部が重点事業ではないように捉えられてしまいますので、2つ合わせて重点事業に記載することは可能でしょうか。

(廣谷スポーツ振興課長)

来年度から部活動における検討会議が開催されますが、検討会議については運動部と文化部を一つの合議体として運営していく予定ですので、見やすい記載となるよう努めたいと思います。

(中田学校教育部次長)

運動部と文化部の所管課が異なる関係で記載が分かれています。記載方法については再度検討したいと思います。

(寺本委員)

検討会議の構成メンバーはどのように考えていますか。

(廣谷スポーツ振興課長)

運動部については、スポーツ協会、スポーツ少年団、早稲田大学、スポーツクラブを予定しています。また、文化部については吹奏楽部連盟、合唱連盟、PTA聯合会を予定しています。

(寺本委員)

現場の教員は入らないのでしょうか。

(廣谷スポーツ振興課長)

小体連、中体連、学校長が入る予定です。

(寺本委員)

現役の部活動の顧問が入ることは難しいと思いますが、現場のことがわかる者が入らないと進まない話だと思いますし、現場を知らない者から意見が出ることで話がまとまらない恐れもありますので、例えば、再任用の教員等、ぜひ現場のことが分かる者をメンバーに入れて下さい。

(宮本委員)

令和3年、4年とコロナの関係で活動が滞り、進められなかったことも多かったと思います。表記の関係で個別の事業にコロナ対策の文言がありますが、共通事項として記載し個別の事業からは省いても良いと思いますが、いかがでしょうか。

(糟谷教育総務課長)

各事業の記載については、各課個別に対応しているところがありましたので、表現についてばらつきが出ているものになります。内容について精査し、共通する部分については集約するなど、見直したいと思います。

(宮本委員)

集約することで全体として見やすくなると思いますし、何をしたいかははっきりすると思います。

(寺本委員)

7ページの「ところんのびのび塾」算数基礎学力向上プロジェクト事業ですが、「令和3年度に実施された埼玉県学力学習状況調査において」の文言からすると、3年度の調査結果によって急遽始めたように思えてしまいます。所沢市の算数の学力は、令和3年度だけではなく、他の年度においても一貫してB問題の成績が良くなかったと思います。「令和3年度に実施された埼玉県学力学習状況調査において」ではなく、「過去10年間における全国学力学習調査や埼玉県学力学習状況調査において」など、表現を改めることはできますか。

(中田学校教育部次長)

現状を伝えることに適した表現に改めたいと思います。

(寺本委員)

9ページの「ところん自習室開設事業」は生涯学習推進センターに自習室を設置し、スペースを提供することになると思いますが、将来的には地域に広げ、ゆくゆくは指導や助言することをイメージしていると思いますので、7ページのトップにして統合することはできないでしょうか。良い事業だと思いますので、目立たせてもらいたいと思います。

(酒井生涯学習推進センター所長)

再掲という形で7ページの「ところんのびのび塾」のところに載せることはできると思いますので、検討したいと思います。

(吉本委員)

7ページの同じ事業で、算数が県の平均を下回っているため、市内全域で学力向上に向けて取り組むことになっていますが、どのようなことをするのでしょうか。

(中田学校教育部次長)

学校において、長期休業中に補習を行うことがあります。それを市として力を入れていくものです。また、学力向上を図るとともに多くの大人が直接子供たちと関わり、教えたり褒めたりする中で、学習することの大切さや楽しさを感じられるようにし、苦手な教科にも前向きに取り組むきっかけを作ることができればと思っています。

(中島教育長)

計上されている予算の使い道を教えて下さい。

(中田学校教育部次長)

講師へ支払う謝礼や、学びに来た子供たちに配るバッチなどの記念品代として考えています。

(江原学校教育部長)

この取り組みは今後広げていきたいと思っていますが、キックオフとして4日間、1日100人の子供たちで延べ400人を想定しており、子ども4人に対し講師1人として延べ100人を見込んでいます。運営については、退職校長会に無償で協力して頂くことになっており、講師については1日2時間で千円を支払う予定です。また、パソコンを使った学習の中でWi-Fi環境がないことから、SIMカードを使うため7万円、謝礼が40万円、子供たちの参加に伴うバッチやノートなど含め少ない予算から始め、3年後には各中学校区でできればと思っています。

(寺本委員)

個人的には謝礼より、講師として認定バッチ等をもたらう方が心が満たされると思います。必要なところに予算を使い効果が出るようにして下さい。

(中島教育長)

どういう人が講師として参加される予定ですか。

(中田学校教育部次長)

市内で教育実習を行った学生や子供たちに教えることに興味がある方、普段から子供たちに教えている学習支援員等も想定しています。謝礼を渡すことについては、この事業に関心を持ってもらいたいという思いもあり、僅かではありますが渡す方向でスタートしたいと思っています。

(吉本委員)

学力向上は、教育委員会の活動の中で基本中の基本だと思います。全国で学力を上げるために各自治体が競ってアイデアを出し合っていると思いますが、これではアイデアがないと思います。もっと練り直して教育のことを真剣に考え、多くの予算を付けてでも学力向上に取り組んでもらいたいと思います。

(寺本委員)

新規事業であり予算は少なくても良いので、ぜひこの取り組みを進めてもらいたいと思います。講師の募集方法の工夫も必要ですし、学習を進める上で、どの部分を強化するかなど、実際に教える側との検討をしながら進めていくことで効果が上がると思います。

(清水委員)

少ない予算から始めて次年度以降、急に予算を増やすことは難しいと思いますが、重要なことであれば中途半端な気持ちで始めるのではなく、重要度のアピールを慎重に行うことが必要だと思います。

(吉本委員)

10ページの第9期電算システム再構築事業は、図書館電算システムのソフトを作る事業だと思いますが、司書が減っている中でシステムばかりに予算を付けるのではなく、もっと人に予算を付けてもらいたいと思います。現場では司書との関わりが多くありますので、分館含め一つの図書館に一人の司書を増やすようにして、貸し出しの際には声掛けしてもらおうなど、利用者にとって利便性が増すような発想の転換が必要だと思います。

(古田所沢図書館長)

図書館の電算システムは、予約・貸出・返却・レファレンスなどすべてのサービスに繋がっているものであり、図書館サービスの根幹を担っているものになります。システムの構築により職員の負担が軽減され、利用者にとってもサービスが向上しますので、人に対する費用も大切ではありますが、システムがないとサービスにつながらないのが現状です。

(吉本委員)

便利なシステムは人間の頭の中にあるものを外に出しているだけであり、各専門職の方はそれを頭に入れ、何十年も仕事をしていると思います。システムより

も人間の方が処理能力は高いと思いますので、システムに予算をかけるのではなく、司書を増やすなど発想を変えて図書館運営を考えてもらいたいと思います。

(寺本委員)

7 ページの I C T 支援員配置事業は、支援員が 8 名となっていますが、担当校は 1 校だけでしょうか。それとも複数校担当されるのでしょうか。また、雇用条件はどうなっていますか。

(中村教育センター担当参事)

現在 8 名雇用しており、他に管理者とリーダーがいます。8 名が一人 6 校を受け持っており、今年度は半日単位で月に 6 回行っていますが、来年度は学校のニーズを踏まえ 1 日単位とし、月に 3 回行く予定です。雇用条件については、I C T の知識経験を有する者であること、グーグル認定講習の免許保有者であること、教職員と連携が取れることなどを条件としています。

(中島教育長)

どのような立場で雇っていますか。

(中村教育センター担当参事)

今年度は富士 I T ソリューションが雇用している者を、各学校へ派遣するという形で配置しています。

(寺本委員)

1 5 ページの小学校外国語活動推進事業ですが、この文面からは 1 6 名を配置していることはわかりますが、TEA-Plan との関連はどうなっていますか。また、支援員の日当はどうなっていますか。

(中村教育センター担当参事)

TEA-Plan が令和 3 年度末で終了し、現在、来年度からの新たな計画の策定に入っており、その中で、校長や教頭、英語の教員を検討委員会の構成員として TEA-Plan の総括を行い、課題となった部分について検討しているところです。また、小学校外国語支援員は、時間給の職員となっており年数による違いはありますが、1, 1 7 0 円から 1, 2 5 0 円の時給となっています。

(宮本委員)

1 5 ページの学力向上支援講師配置事業は、1 2 名が配置されることになっていますが、なぜ 1 2 名の配置となったか経緯を教えてください。

(中田学校教育部長)

学校からの要望によるものですが、すべての要望に応えることはできなかったため、検討し人数を決めています。

(宮本委員)

12校以上から要望があったということでしょうか。

(中田学校教育部長)

そのとおりです。

(宮本委員)

先程の学力向上と関係するところになりますので、全校配置が望ましいと思います。児童生徒にとってもメリットになることですし、教員にとっても休んだ際の代わりを担ってもらえるのであれば、存在意義が高いと思います。

(宮本委員)

22ページの「(仮称)南極・北極から地球の未来を考えてみよう」開催事業ですが、児童生徒にとって良い事業だと思いますので、開催の案内により来場してもらうだけでなく、学校の時間に合わせてオンライン講義を開催するなど、ICTを活用した企画をすることで場所と時間を選ばず参加することができ、この事業が活きるのではないかと思います。同様に、10ページのイタリア選手団事前キャンプ受け入れ事業では、事前キャンプ時の対応として児童生徒との交流会の開催とありますが、参加することが難しい児童生徒に対しては、ICTを活用することで事業がより良くなると思います。

(古田所沢図書館長)

頂いた意見については、実施が可能か検討していきたいと思います。

(廣谷スポーツ振興課長)

練習会も見学できることになっていますので、オンラインでの視聴が可能か検討していきたいと思います。

(森田委員)

ICT教育に関わるようになりますが、他市において全中学校に電子黒板の導入という新聞記事を見ましたが、所沢市での導入予定はありますか。

(中村教育センター担当参事)

所沢市においては、GIGAスクール構想前は、全校に電子黒板を導入するこ

ととしておりましたが、G I G Aスクール構想が国から示されてからは、この基準に則り、全普通教室に大型液晶ディスプレイを導入することに方向性を変え設置している状況です。

(清水委員)

I C T教育に関して、一人1台電子機器が行き渡りましたので、これからは使いこなせるように使い方を指導する必要があると思います。

8 報告事項

○所沢市教育委員会後援等名義使用許可について (教育総務課)

○所沢市教育委員会の2月から5月までの主な行事予定について (教育総務課)

○第2回所沢市教育振興基本計画審議会の開催結果について (教育総務課)

○令和4年度所沢市スポーツ大賞表彰式の実施について (スポーツ振興課)

○所沢市ゆかりのアスリートについて (全豪オープンテニスベスト4報告会)

(スポーツ振興課)

○学校給食展の開催結果について (保健給食課)

質疑なし

○新型コロナウイルス感染症への対応について (教育総務部・学校教育部)

質疑なし

○新型コロナウイルス感染症への対応について (学校教育部) 【非公開】

質疑なし

○市内小中学校での事案について 【非公開】

《 削除 》

○令和5年度教育委員会当初予算の概要について 【非公開】

質疑なし

9 議題

- 議案第29号 令和4年度教育委員会予算（3月補正・追加）について

【非公開】

- 議案第30号 令和5年度教育委員会当初予算（補正）について

【非公開】

※関連する議案のため、一括して審議

《 削除 》

※中島教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、両議案とも原案どおり可決された。

- 議案第31号 県費負担教職員（管理職）の人事に関する内申について【非公開】

《 削除 》

※中島教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

10 その他

○今後の日程

- ・教育委員会会議3月定例会：3月10日（金）

11 閉会 11時50分